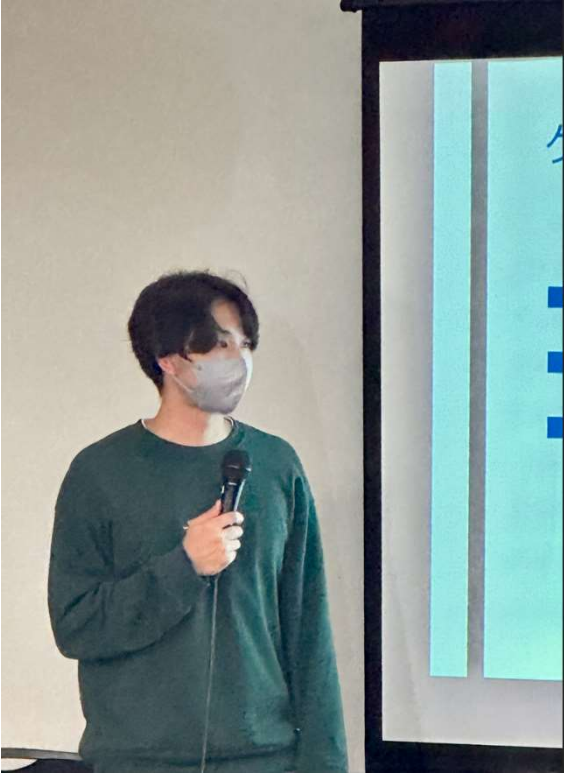


後半は、卒業生インタビューである。定期試験を終えたばかりの順天堂大学医学部現役生が、国家試験までの短い休息を利用してかけつけてくれた。(ティープロ⇒栄東高校卒業)バンドを組んで情熱を傾けた音楽の活動など、充実した学生生活の様子を聞かせてくれた。ご両親とも医師だが親からの強制感はなく、自分が医師をめざしたのは自然の流れだったという。チーター君には、視点を変えて、彼らから感じた高校時代の親の接し方についても語ってもらった。



次は、防衛省勤務のご尊父から厳しくかつ温かく接してもらった「ミッシェル」さんの登壇である。この春学習院大学に入学し、法律の勉強に取り組んでいる。「宝仙理数インターを卒業して本当によかった。そして今の学習院大学にも大変満足している」と満面の笑みで答えてくれた。ご両親への感謝も伝わってきた。

